

2025 年度外国人留学生のオリエンテーションとキャリア支援 - 「入口」と「出口」における支援 -

岡 琬新

東北大学大学院教育学研究科

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が実施した「2024（令和 6）年度外国人留学生在籍状況調査」によると、日本の高等教育機関に在籍する外国人留學生は約 229,467 人に達している（JASSO, 2024）。一方、日本政府は従来の「留學生 30 万人計画」から方針を転換し、2033 年までに受け入れ数を 40 万人へ引き上げる目標を掲げている（内閣府, 2023）。この政策には、国費留學生制度、各種奨学金、住居支援、キャリア支援など、多岐にわたる施策が含まれており、留學生が安心して学び、将来的に日本社会で活躍できる環境の整備が進められている。

このような政策動向を踏まえると、大学における留學生支援の強化は、彼らの学業・キャリア形成を促進し、日本社会全体の発展にも貢献する重要な取り組みといえる。東北大学教育学部・教育学研究科に在籍する留學生の学びや生活をより充実させるため、国際交流支援室は新入留學生向けのオリエンテーションおよび進路相談の個別支援を実施した。

1. 新入留學生のためのオリエンテーション

国際交流支援室は、2020 年 10 月以降、教育学部および教育学研究科の新入留學生を対象に、年 2 回のオリエンテーションを実施している。2025 年度は 4 月 8 日と 10 月 3 日に対面形式で開催し、国際交流支援室の教員 3 名と新入留學生 13 名が参加した。

オリエンテーションでは、まず教員から新入留學生への歓迎の言葉があり、その後、教育学部・教育学研究科および東北大学全体の留學生支援プログラムについて説明が行われた。さらに、留學生活で直面しやすい課題について話し合い、解決策に関するアドバイスが提供された。加えて、キャンパスツアーを実施し、新入留學生が大学施設を理解する機会を提供した。

また、国際交流支援室は SNS を活用した相談体制を整備し、在学中の留學生が留學生活に関する疑問や問題を気軽に相談できる環境を提供している。今年度は、英語プログラムで入学する留學生の増加に伴い、英語でのオリエンテーションも実施した。

2. 留學生向けの個別相談支援

2025 年 12 月時点で、教育学部・教育学研究科には合計 70 名の留學生が在籍している。その内訳は、博士後期課程 15 名、博士前期課程 23 名、学部生 9 名、大学院研究生 4 名、学部研究生 14 名、科目履修生 3 名、特別研究生 2 名であり、在籍課程や修学目的は多様

である。このような背景を踏まえ、国際交流支援室では、留学生一人ひとりの状況やニーズに応じた個別相談支援を重視している。

進学を希望する留学生に対しては、同様の進路を経験した先輩留学生を紹介し、出願準備や研究計画の立て方、日本の大学院制度への理解を深める機会を提供している。これにより、教職員だけでなく、留学生同士のピアサポートを通じた情報共有と心理的支援の強化を図っている。

また、学内外で実施される留学生向けイベント、奨学金情報、キャリア関連セミナー等については、メールを通じて定期的に周知を行い、留学生が必要な情報にアクセスしやすい環境を整えている。特に、日本での就職を希望する留学生に対しては、キャリア支援センターの担当スタッフと連携し、履歴書・エントリーシートの作成、面接対策、就職活動に関する制度的な説明など、個別の相談支援を実施している。

今後は、留学生数の増加および背景の多様化を見据え、個別相談支援のさらなる充実を図るとともに、留学生自身が主体的に情報交換や相互支援を行える仕組みづくりが課題となる。これらの取り組みを通じて、留学生の学業達成とキャリア形成を包括的に支援していくことが求められる。



春学期のオリエンテーション



秋学期のオリエンテーション

参考文献

独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO). (2024). 2024 (令和 6) 年度外国人留学生在籍状況調査. 独立行政法人日本学生支援機構.

https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2025/04/2024_zaiseki_suii_21.pdf

内閣府. (2023). 教育未来創造会議: 留学生受け入れの新方針. 内閣府.

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/230427panflet.pdf>